

(別添7)

事業所名 清静園指定認知症対応型共同生活介護事業所

2 目標達成計画

作成日: 令和元年12月26日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---|---|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 47 | かかりつけ医処方薬について、本人のその時の状態に合わせて薬を処方してもらえるよう医療機関と調整を行う際に、薬の目的や副作用、用法、用量を正しく理解する必要がある。 | 本人の状態に合った適切な薬を処方してもらえるよう、処方された薬について正しく理解をし、必要時は医療機関と調整を行う。 | ①各職員が入居時申し送りシート等から既往歴を把握。②医療機関からのお薬リストをよく読み、効果や副作用等を把握する。③顧客の状態観察に努め、往診時等に、都度適切な薬を処方してもらえるよう医療機関と調整を図る。 | 6ヶ月 |
| 2 | 48 | 歌、手作業、生け花等、顧客によって楽しみごと、気分転換の内容は異なると思われるが、その把握や個別の援助がなかなか出ていない。 | 顧客それぞれの楽しみごとや気分転換の内容を把握し、顧客が楽しめるように援助を行う。 | ①顧客の入居時調査票等で、趣味・生活歴等を把握。②楽しみごと、気分転換に必要な物品等の準備。③顧客それぞれが好きな時間を楽しめるよう、必要な環境を整える。 | 6ヶ月 |
| 3 | 19 | 家族に対し、面会時や行事、家族交流会などの際、こまめにその時の本人の状態を報告するようにはしているが、サービス計画に繋がるような具体的な家族ニーズをなかなか聞き出す事が出来ていない。 | 面会時等に家族と顧客本人の状態について話し合う機会をしっかりと持つ事で、サービス計画に繋がるような家族ニーズの聞き取りを行う。 | ①顧客の状態把握をしっかりと行う。②その中で、健康面や生活上での問題点、課題を含め、家族に状態報告する。③家族希望の聞きとりや、本人の意向を尊重した上で、今後の生活方針を話し合う。 | 12ヶ月 |
| 4 | 33 | 「延命治療に対する同意書」にて、重度化した場合や終末期のあり方について入居時に家族の意向を確認しているが、入居から何年も経過し、顧客の状態変化もある為、家族の意向を再確認する必要がある。 | 「延命治療に対する同意書」について、家族の意向を再確認し、どのような方針で終末期を迎えるかを予め家族と話をしておく。 | ①「延命治療に対する同意書」について、再確認したい旨を家族に連絡。②現状に加え、現病歴が進行し、重度化した場合も想定に入れ、家族と話をする。③面会時、同意書に署名・捺印を頂く。④可能であれば、より具体的に終末期・看取りについての話もしておく。 | 12ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。